

公明ひらつか



教育環境の安全性確保の推進を

小笠原 千恵美 議員

問 記念碑や銅像などの台座設置物の安全点検をすべきではないか。

市長 台座設置物は、13の小・中学校に設置されており、構造などを精査し、安全性の確保を検討したい。

問 通学路は防犯や防災に関する対策が求められる。通学路交通安全プログラムを見直す考えはあるか。

市長 現行プログラムは交通安全面のみで特化している。防犯、防災面を一体に関係機関と協議していく。

問 ブロック塀などの安全対策に関する補助制度拡大は、平成32年3月までの期限的措置であるが、期間を延長する考えはあるか。

まちづくり政策部長 短期間で集中的に行いたい。申請状況に応じ考えていく。

問 空き家のブロック塀などの対策はどう進めるのか。

まちづくり政策部長 補助制度は利用できないので適正管理をお願いしていく。

問 災害協定を結ぶ企業から情報を提供してもらおう考えも必要ではないか。

まちづくり政策部長 建設業協会や建築士会などと相談していきたい。

問 体育館などの窓に貼った飛散防止フィルムは調査や貼り替えが必要である。現況と対応を伺う。

市長 一部の学校は貼り替

えの時期にあると認識している。今後の改修では飛散防止と遮熱効果を持つフィルムなどを検討していく。

問 幼稚園の保育室や生徒数の多い学校の特別教室には、授業数に見合ったエアコンの設置が必要である。教育の公平性から、格差のないようにできないか。

学校教育部長 ひばり幼稚園は増設を考えている。さくら、金目幼稚園はエアコン以外の簡易的な冷房機器などの配備を考えたい。また、中学校は来年度に普通教室と合わせ特別教室にも設置できるか検討したい。第2教室に当たる特別教室についても検討する。

中学校給食の実現は、相模小学校の移転が具体的ににならないと前に進まないと思うが見解を伺う。

市長 中学校の完全給食実施も喫緊の課題であるので、速やかに具体的な検討をしていきたい。

問 共同調理場は新たに建設するのか。

学校教育部長 調理場は建物も老朽化し、設備も傷んでいる。小学校の分と合わせて造るか、別々に造るかを即座に検討しなければならぬと考えている。

高齢者が外出したくなる街に

健康な状態と要介護状態の中間的な段階であるフレイルを予防する事業の取り組み内容を伺う。

福祉部長 65歳以上の高齢者を対象に「知る」「予防する」「改善する」の観点から事業を実施し、フレイル予防セミナーや出張フレイル講座などを予定している。また、住民の支え合いによる介護予防を推進するためフレイルサポーターの養成も考えている。

問 南部福祉会館の施設整備について伺う。

福祉部長 良好な状態で長く使えるよう計画的な修繕を行っていきたい。

問 健康な状態と要介護状態の中間的な段階であるフレイルを予防する事業の取り組み内容を伺う。

福祉部長 65歳以上の高齢者を対象に「知る」「予防する」「改善する」の観点から事業を実施し、フレイル予防セミナーや出張フレイル講座などを予定している。また、住民の支え合いによる介護予防を推進するためフレイルサポーターの



持続可能な経済成長と新たな産業振興を目指して

秋澤 雅久 議員

問 本市の産業振興計画が持続可能な開発目標であるSDGsの目標達成に向けた役割をいかに果たしているのか。

副市長 平塚市産業振興計画2024(素案)では、本市産業の更なる発展のため、7つの基本方針と21の施策を設け産業振興を推進することとしている。その中で、本市の持続的な経済成長に向けた取り組みがSDGsの複数の目標達成に向けた役割を果たすものと考えている。

問 本市の目指すイノベーションとは何で、その主体は誰であるのか。

副市長 本市の強みを生かすことで、新たな価値や仕事が生み出される動態をイノ

問 損害賠償保険加入を義務付けるべきではないか。

交通政策担当部長 県の条例制定の動きを注視する。

問 幼児・児童用の自転車ヘルメットの購入助成事業は対象を拡大しないのか。

交通政策担当部長 65歳以上の高齢者への拡大について、協議を進めていく。

自転車走行の安全対策の取り組み

損害賠償保険加入を義務付けるべきではないか。

交通政策担当部長 県の条例制定の動きを注視する。

問 幼児・児童用の自転車ヘルメットの購入助成事業は対象を拡大しないのか。

交通政策担当部長 65歳以上の高齢者への拡大について、協議を進めていく。

問 SDGsのさまざまな項目の中にビジネスチャンスが隠れていると言われている。中小企業の経営者にとって、浸透を図っていくことについて見解を伺う。

産業振興部長 例えば平塚海洋エネルギー研究会の活動はSDGsの取り組みであるが、社会人の人材育成の役割も担っている。企業メンバーを対象に勉強会を開催するなどの取り組みをホームページなどで広めることで伝わりやすくなる。また、産業活性化セミナーでSDGsを取り上げ、商品のブランディング化を図るなどの話があった。

問 このようにセミナーなどで伝えることにより浸透させていきたい。

SDGsを推進する上で、本市職員の教育をどう考えているのか。

産業振興部長 産業振興計画作成時に、漁業、農業も含めて全てSDGsが関連すると認識している。事業者と活動するなかで、更に自らも考え方を深めていくような取り組みをしていきたい。

問 中小企業にITの導入や使い方について教えていくことが重要であると思うが、見解を伺う。

産業振興部長 商工会議所や金融機関が研修をしている。これらと連携しながら、ITの活用を周知していきたいと思っている。

このほかの質問 平塚市いじめ防止基本方針(改定素案)について、すべての市民が生き生きと働けるまちを目指して 就労支援

問 相模小学校の移転の今後のスケジュール

学校教育部長 スケジュールを順番に考えていくと、12月議会に間に合うかぎりぎり、難しい面もあると思う。

問 12月議会に間に合わない場合、継続費又は債務負担

問 12月議会に間に合わない場合、継続費又は債務負担

問 12月議会に間に合わない場合、継続費又は債務負担

行政視察の報告

議会では他自治体の先進事例を研究するため、行政視察を実施しています。6月定例会で承認を得た四つの委員会が、閉会中に行政視察を行いました。

総務経済常任委員会 (8月2日~3日)

- 滋賀県草津市...草津ブランドの取り組み
●大阪府東大阪市...都市農業の取り組み

都市建設常任委員会 (7月30日~31日)

- 兵庫県芦屋市...無電柱化に向けた取り組み
●滋賀県大津市...大津湖岸なぎさ公園

環境厚生常任委員会 (7月11日~12日)

- 福島県伊達市...「健幸都市」の取り組み
●宮城県仙台市...杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画2011-2020(改訂版)

教育民生常任委員会 (7月17日~18日)

- 大阪府池田市...不登校対策
●奈良県生駒市...学力向上の実践的な取り組み

※詳しい視察内容を記載した報告書は、市役所本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナーでご覧いただけます。



相模小学校 平成34年4月開校を目指して

鈴木 晴男 議員

相模小学校移転の今後のスケジュール

問 用地が更地にならないと工事費の予算を議会に上

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

問 12月議会に間に合わない

公明ひらつか

所属議員



伊東 尚美 議員



永田 美典 議員